

即興スピーキング!



目標が明確で
生徒にセルフ
チェック
させやすい

教材の使用方法

- ▶ 授業と自学で使用
週1回「英語表現Ⅰ」または「英語演習」の授業で30～35分間使用

テストの実施方法

- ▶ 1回の範囲、問題数
授業2時間(2週)に1回実施
- ▶ 問題の種類
インタビュー、会話、Reportingの言い換え・書き換え、カードゲーム、プレゼンテーションなど

金蘭会高等学校 濱田真奈美先生



目標を明確に、活動中心の授業に転換

教員の発話や説明を少なくし、生徒のスピーキング活動中心の授業を実施したいと考えていた時に、『即興スピーキング!』著者の本多敏幸先生のワークショップに参加する機会を得、本書と出会いました。その時に、学習上の心得や各アクティビティーの目標が明確で、生徒が各自でセルフチェックができるのもよいと考え、採用を決めました。

授業ではまず、日本語を各自で黙読させ、次に教師が英文を読みます。そしてこの課では何をするのか、何ができるようになるのかを生徒と確認してから、活

動に入ります。また自主学习としては、リスニング力を付けるために、CDを使ってオーバーラッピングやシャドーイングを毎日5分実施するように呼び掛けています。

今後の具体的な活動として、Unit 4のActivityを使って、グループ別にミニ・ポスターセッションができないかと模索中です。本書での活動を通して、会話や人前で発表するためには、普段からさまざまなことに興味を持ち、引き出しをたくさんつくっておかなければならないことに気付いてほしいと思っています。